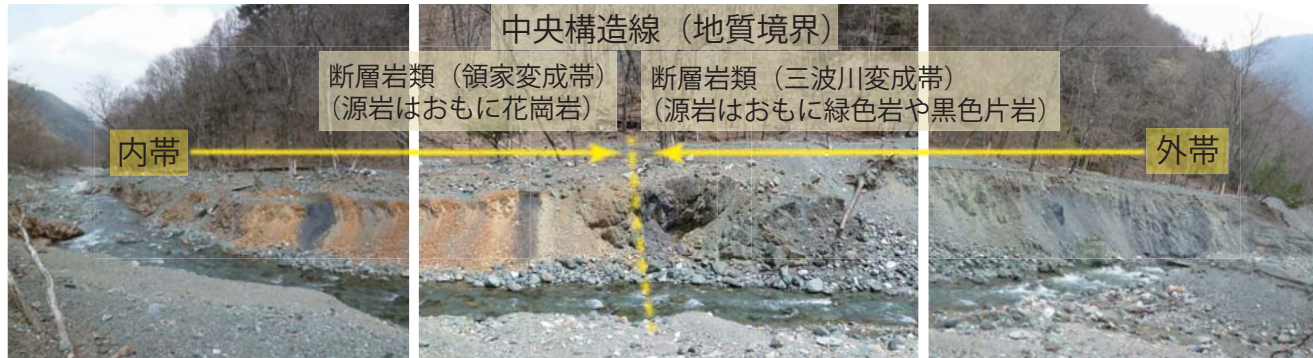


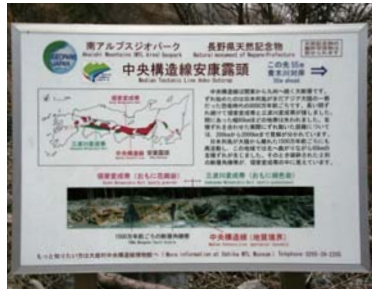
# 安康露頭

全く異質の岩石が接する断層が観察できる

大鹿村を南北に貫く中央構造線南端、青木川沿いに位置する、幅約30mにおよぶ巨大な中央構造線露頭。安康は地名。領家変成帯（向かって左側）の花崗岩などと三波川変成帯（向かって右側）の緑色片岩などとの間に2列の異色の断層破碎帯が観察できる。長野県天然記念物に指定されている。2013（平成25）年10月、史跡名勝天然記念物指定に指定された。



ふたつの地質が接している様子が、はっきり確認できる



案内看板



中央構造線の全体図(南アルプスジオパーク(中央構造線エリア)パンフレットより)

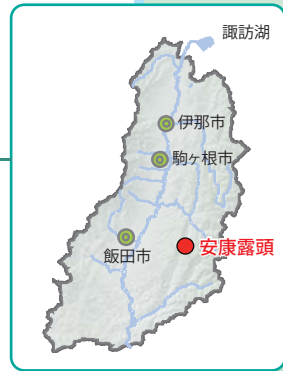


- **露頭**: 地層や岩石が直接露出している崖や河床のこと。
- **中央構造線**: 西南日本の中央部を横断する我が国で最も長大で重要な構造線(断層)。
- **領家変成帯/三波川変成帯**: 中央構造線により北側の内帯(領家変成帯)と南側の外帯(三波川変成帯)に変成岩帯が分かれている。名称はいずれも地名に由来する。
- **断層岩**: 断層に沿って、地下深くまで両側の岩石が変成岩(断層運動による高い圧力や温度により、新しい鉱物や組織がつけられ姿や形をかえた岩石)となっている。

## information

□ **アクセス**  
松川ICから30Km  
車で→1時間

□ **所在地**  
大鹿村安康



(国土地理院の数値地図50000(地図画像)を使用)